

長 生

令和元年 9 月 号

目 次

会長の言葉	日本長生医学会会長 柴田政宏
宗 教 編	
法 話	得勝寺 本莊一治… 1
仏説阿弥陀経六方段・解説 その1	愛媛県 坂谷裕司… 3
医 学 編	
腰 痛 その1	長生学園 講師 星 虎男… 5
随 想 編	
開業5年目を迎えて ～脱サラ夫婦の治療院経営術 その4	岡山県 佐々貴司… 8
長生知恵袋	12
どちんのただいま参加中!!	15
本部報告	17
支部報告	18
訂 正	18
学園便り	19

日本長生医学会

会長のことば

総本山長生寺管長 柴田政宏
日本長生医学会会長

残暑お見舞い申し上げます

猛暑が続いております。夏が旬の食べ物はたくさんありますがその中で長生上人はスイカが大変好きだったと聞いております。スイカは、ほとんどが水分で構成されておりますが、β-カロテン（免疫賦活作用）、カリウム（疲労回復、利尿作用）、シトルリン（血流改善）などが含まれておりますので、暑いさなかにはおすすめの食べ物です。季節の食べ物を取り入れながら残りの暑い時期を乗り切っていただきたいと思っております。

慣れはよき見方であるとともに恐るべき敵である

車の運転でも免許を取得した直後は慎重に運転するので重大な事故は滅多に起こさないが、経験を積み慣れてくると初歩的なミスで事故を起こすことがあります。私も約40年間毎日のように車の運転をしておりますがこの様な経験が何度かあります。また最近では加齢からか視力が下がり判断力も若いころに比べると少し衰えを感じるがあります。少し前、高齢者ドライバーの重大事故が相次ぎ連日のように報道されていましたが、とても他人事とは思えません。

長生医学においても同様であり、長生学園で手技の基本を習ってすぐは恐る恐る慎重に行っていますが慣れてくると少し強引な方法で行っている姿を見かけることがあります。慣れることは大事ではありますが「初心忘るべからず」の精神で定期的に初心に帰って基本の確認をし、手技だけでなく治療に対する心構えや謙虚さを忘れてはならないと思っております。

正義先生は常々「私が治したのではなく、仏様が私の手を通して治させていただいている」と申されており御仏のご加護によるものと感謝をすることが大事であると申されておりました。

科学が進歩し、医療が高度化している現代においても、検査などで客観的な異常が見られず医療の枠組みから外され積極的な治療が受けられず不調を訴え続ける患者さんは大勢いらっしゃいます。そのような方々の為にも長生医学の発展が必要であると思っております。長生学園の来年度の入学生の考査が9月1日に本格的に始まりました。会員の諸先生方の日々のご活躍が、長生医学の継承、発展の力と成っております。何卒ご協力をお願い申し上げます。

合 掌

宗 教 編

法 話

得勝寺 本 莊 一 治



前回は、浄土真宗の七人のご高僧さまの中の第三番目に当る曇鸞大師さまの道教から仏教の世界に復帰された背景につき述べていただいた経緯いきさつの中で、親鸞聖人さまのご『和讃』の中にありました「仙教せんきょうながくやきすてて」、つまり、不老長寿を説いた『仙教』十巻を隈無く焼きすてた、とありましたことに、深い疑念を抱かずにはいられませんでした。

1, 長生医学会の精神

それは、当長生医学会では、前回にもふれさせていただきましたが、親鸞聖人さまの著作『教行信証』の「信巻しんかん」の中で明記された「大信心はすなわちこれ長生不死の神方…」という記述の背景が大きくあった点についてふれさせていただきました。

したがって、当長生医学会の、他の医学の世界では有り得ない、長生上人さまの高邁こうまいな精神が背景にある長生医学会、しかも、さらに言いますと、長生上人さまの後継者であられるご親族の皆様は勿論ですが、こうした上人さまの崇高な精神を背景に活躍されておられます皆様方のご姿勢が、やはり普通ではありません。

折角ですから若干ですが、ふれさせていただきたい所存であります。全員の皆様でなくてごめんなさい。

では、長生上人さまがご遷去せんきょされてからの五十回忌、ならびに、阿彌法尼さまの十七回忌のお年忌ご法要の折に、記念誌として発刊されました『長生のこころ』、こちらに記載されました会員皆様方のご信念についてふれさせていただきます。

ところで、その前になりますが、この『長生のこころ』の編集に当たっての、長生

上人さまの後継者であられ、長生学園の学園長を勤められておられる柴田節子(修伽)さまが会員皆様方への大きな期待、並びに感謝の思いが強くなりますので、記載させていただきます。

先ず最初ですが、長生医学会継承の意図につきまして次のように述べてくださっております。「如来の法を 相続する人となり物を相続する人となるなかれ」お釈迦様が「如来の願心を生きる者となることが、この世に生を享けた最も大切な理由であり、その御心を伝えていくことこそが、人として、最上の道である」と教えられた詩です。

長生上人はこの御教えのごとく、御自身の生涯をかけて進行の道を明らかにされ、私達に長生医学を残して下さいました。そして、この教えは今、長生医学会に携わる私達三世代の子や孫達の“いのち”として、受け継がれております。」と厚い思いを込めてお示し下さっております。しかも、更には、長生上人さまのみ教えを胸に、次のようにお述べくださっております。「私達は周囲の人たちに支えられながら生かされているのです。このことに気付くことこそが、感謝の心を育む源だと思えます。

また、この霊肉救済法を施すにあたっては、各々が自分に与えられた分限で仕事に専念し、そして、長生医学を愛しつつ、互いに支え合い、世の為人の為に力を尽くしてこそ、報恩と感謝の世界の中で自由に生きる事が出来るのだと思っております。」と報謝されておられます。そして、さらには、報謝のお気持ちで「あの当時の長生上人の御法話が、50余年が過ぎた今でも私の耳元に響いてま

います。」とあり、次のようにしたためられております。「今日、長生医術の研究が出来、病に悩む人々の肉体の救済を微力ながら為し得るのも、私の力ではなく、御仏様のお蔭であります。医術のみでも肉体の救済は出来ますが、しかし、精神の救済はできません。肉体の救済のみでは充分ではなく、肉体と精神を共に救済する霊肉一体の救済こそ真の救済なのであります。」と、述べてくださっておられます。したがって、節子さまは『長生のこころ』の最後の「編集後記」の中で、会員の皆様方への感謝のお気持ちを次のように述べておられます。

「今回、この趣旨にご賛同とご協力を賜りました全国各地の会員の皆様、長生学園講師の諸先生、更には患者さん方にもご協力を得まして、160編余りのご投稿を戴く事が出来ました。校正が進むにつれ、皆様方一人一人の長生医学に懸ける熱意や誠意、そして感謝のお気持ちがひしひしと伝わってまいりました…。このような皆様方のお心こそが、今後も末永く長生医学会を支える原動力となり、今後、長生医学の修得を志す人々にとっての道標となり、長生の心を育む為に役立つものと信じております。」と、深く感謝されておられます。では、元に戻らせていただきますが、この『長生のこころ』に寄せられた会員皆様の寄稿にふれさせていただきます。

(1) (長生における療法と信心とは、車の両輪のごとく、他力の信心なくしてはその療法も充分とはいえない) これは長生上人のお言葉であります。長生上人の50回忌を迎えた今日、我々はもう一度原点に帰って更なる前進を目指し、会員一同、このお言葉を深く思いを廻らせねばならないと思います。療法も、単に物理的な療法ではなく、心の問題、「他力の信心」があつてこそ、効果が倍增するのではないのでしょうか。長生上人御在世の時、長生上人は、いつでもどこでも治療中においても称名の声が絶えなかったという話は、当時を知っておられる先

生方より、よくお聞きすることであります。長生上人から直接治療を受けられた患者さんは、どの位多くの功德を貰い受けていたのか測り知れないことであろうと思われまふ。長生上人に一歩でも近づき、同じような治療をして行きたいものです。霊肉一体の救済を主眼とする治療法は世界で唯一つ、長生医学だけです。霊の救済は、弥陀法をひたすら聴聞して行かれた長生上人の御跡をそのまま正しく歩ませて頂くことによって成就するものと思われまふ。長生医学会会員一同、長生上人の御足跡を正しく歩ませて頂きましょう。

南無阿弥陀仏 合掌 (愛媛県 坂谷 裕司)

(2) 田舎者の私を一人前の治療師に育てて下さったのは長生上人、阿彌陀仏のお蔭であります。「信心を決定して長生療術を施し…」崇高な理念を昭和初期から一貫して説き続け実践された長生上人。北は北海道から南は九州へと、全国各地を長生療術の講習及び治療会で多くの会員を指導育成され、数多くの病む人、悩む人々を奇蹟的に治療なされた神技に等しいご功績を、私共は決して忘れません。阿彌法尼は、長生学園の創設、新長生寺の完成、その後、鎌倉の長生寺本廟の建立、その間に多くの弟子の指導育成、公私に亘るご苦勞は、筆舌に尽くし難いものがあります。正に長生の宝であります。何処までもお伴をしたい長生上人、阿彌法尼への思慕の情念は年毎に深まるばかりです。

俱会一処 如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし 師主知識の恩徳も 骨を砕きても謝すべし 恩徳讃の声が魂に沁み込んでまいります。合掌 (真宗長生派札幌教会 主管者 酒井 隆光)

以上、会員の方の、上人様、並びに阿彌法尼様とのご縁に感謝されておられますと共に、霊肉救済に力を注がれておられ、高邁こうまいです。まだありますので、次回、又記述させていただきますと思っております。

合掌

仏説阿彌陀經六方段・解説 その1

愛媛県坂谷裕司



柴田修伽先生が大変ご苦労されまして昭和45年に編集されました「純宏法師は生きている」という本の中に、故酒井隆光先生の投稿されている文章が掲載されております。その本の初版本では418頁、増刷本では404頁に次の様な内容の記述があります。

～前略～私はある時、純宏先生と一緒にお風呂に入り、大きな体を流し乍ら、お尋ねしました。「先生は病気を治すためにお説教をなさるのか、それとも健康体にしてから信仰に導くためになさるのか、一体どちらなのですか？・・・背骨治しと信仰、何れが方便なのですか」と問えば、恩師答えて曰く「強いていえば、背骨治しが方便で、『真』は南無阿彌陀仏の六字のおいわれをよく聴聞して、ここに得難き『信心』を獲得することこそ、人間として、この世に生を受けた一番大切なことだと僕は信じている」と仰せられたのです。更に、師は語り続ける「なあ、酒井君、如何に背骨を治してみても、人間百年も二百年も生きられる訳でなし、決して死なない方法なんてないんだよ。また、反面健康な人が、皆幸せであるかといえば、決してそうではない。不平不満から喧嘩もする、強盗もする、そして殺人に至る。このような犯罪者は、むしろ病弱であった方がよかったかも知れぬ。ここで一番大切なことは、『ここだよ』と、部厚い胸をドンと叩き乍ら、『心』の問題だよ。人間の『幸』『不幸』とは要するに、『信仰心』のある人

とない人の相違だよ。この問題が解決した暁には、如何なる問題に遭遇しようとも微動だにすることはない。心に金剛堅固な信心を戴いたからには、何としても仏恩報謝のお念仏諸共に、世のため人のために最善を尽くすのみだよ。」と尽きることなく力説される純宏法師～後略～とあります。

また、昭和62年に発行されました「ひとすじの道 長生の母・阿や」(229頁)に長生上人の御言葉が次のように書かれてあります。「背骨治しと信仰といずれが方便か、問われれば背骨治しが方便で、『真は南無阿彌陀仏の六字の謂れをよく聴聞し、ここに得難き信心を獲得する』事こそ人間としてこの世に生を受けた一番大切なことと信じている」とあります。

これらは「南無阿彌陀仏」即ち六字の謂れを聴いて、一日も早く「信心決定」してくれよとの長生上人の思し召しのお言葉であります。「六字の謂れ」を正しく聴聞していく事が一番大切な事である、と云う事があります。正しく聴聞するとは、經典に書かれてある文字を文字通りに解釈していくこと、その際自分の思いや考えを一切差し挟まないことが肝要です。何故ならば、凡夫という自分の心に合う話なら続けて聞く人が実に多いけれども、凡夫の心は迷いが多故に、自分の心に合う話では助かることも、信心を獲得することも出来ません。

迷いの心を持つ凡夫に合う話は迷いでしかありません。

「手を叩く 下女は茶をくむ 鳥はたつ 鹿は近寄る 宮島の宿」と言う古歌があります。人はそれぞれによって受け取り方が変わって来る、と言う事が往々にしてあります。よくよく気を付けて、文字通りの解釈をして頂きたいものです。と云う事で、それでは、これより仏説阿彌陀經六方段の解説を始めたいと思います。

仏説とは、仏の説、即ち釈尊が説かれたと云う事です。釈尊は八万四千もの教のお経を残されていると云われていますが、その内、浄土真宗の依り所とする經典は「大無量寿經」「觀無量寿經」「阿彌陀經」であります。これを浄土三部經と云います。

「大無量寿經」は略して「大經」、「觀無量寿經」は略して「觀經」、「阿彌陀經」は略して「小經」と呼ばれております。

阿彌陀經六方段を理解するためには、どうしても浄土三部經というものの大まかな意味合いを知って頂きたいのであります。

「大無量寿經」は法の眞実を説いているのであります。即ち、釈尊が光明無量、寿命無量の御徳を具えられた阿彌陀仏のことを説かれたお経であります。釈尊は何の為に此の經を説かれたかと云うと、超世の別願を開き顕わされるためであります。阿彌陀如来の本願は世に越えた特別の大慈悲によって設けられたものであるから、釈尊も沢山のお経の中に、折々にこれを説かれています。未だ直ちにその始終を一貫して説かれたお経がなかったので、この大經において特に阿彌陀仏の本願の生起本末を説いて、凡夫がただ他力（本願力）で仏と成る道を

示されたのであります。これを親鸞聖人は正信偈に於いて「如来所以興出世 唯説弥陀本願海」「如来世に興出したまふ所以は唯弥陀の本願を説かんと成り」と申されています。眞に此の經は五乘齊入の教えと云って、人・天・声聞・縁覺・菩薩の五乗が少しも漏れるところなく、同じく齊しく証りに入ることの出来る教えであって、釈尊がこの世に生まれられた根本の目的は、ただこの經を説かれる事にあつたのであります。

次に話が重複しますが、大無量寿經の大要を云いますと、大經は釈尊出世の本懐たる他力の法門を説かれてあるもので、その上巻には如来浄土の因果、即ち阿彌陀仏が元法蔵菩薩たりし時、総ての衆生を救済せんが為に世自在王仏の所に於いて、四十八の大誓願を發し永劫の間修行されたこと、そして其の修行によって誓願は達成され、現に阿彌陀仏となって西方に浄土を構へ、衆生をして南無阿彌陀仏の六字の名号を聞信せしめて救済し給うことを説き、下巻には衆生往生の因果即ち衆生が其の阿彌陀仏の浄土に往生するには、念仏往生と諸行往生との二種の法があること、及び衆生が浄土に往生した後に受けることの諸種の果徳を明らかにしているのであります。

要するに南無阿彌陀仏の中に込められている願行力（万善万行総体の力・功德力）によって、阿彌陀仏は凡夫（衆生）を間違ひなく助けるぞと云うことが述べられているのであります。そこで、衆生は名号（南無阿彌陀仏）の謂れを聞いて信ずれば間違ひなく助かる、信心を獲得すると云う訳です。

つづく

腰痛 その1

長生学園 講師 星 虎 男



腰痛は、我々人類の祖先が直立して歩くようになってから背負わされた宿命ともいえる。実際、人類の80%は、その生涯のいずれかの時期に腰痛の苦しみを体験するといわれている。

二本足で直立する人間は、脊柱を柱とし、腰、胸、首の3カ所でバランスをとっている。30数個の椎骨が互いに重なっていて、関節を作り、重力に対してバランスをとるために、全体としてS字状に弯曲している。この構造は、体重を支えるために必然的に生じたもので、周囲の筋肉や靭帯などの軟部組織によって支えられているものの、重い体重を支えながら運動するには決して安定した構造とはいえない。運動時に最も疲労し易い腰椎は、全体として前方へカーブを描いて連なっているが、周囲の筋肉の疲労や運動時の不良姿勢などによって、その正常なカーブを保つことができなくなり、より大きく前方に弯曲したり、骨盤の変形を起こして、腰痛や足の痛みの原因となる。

1. 医学的管理とリスク管理

(1) 原因

① 椎骨の異常

椎間板症が最も多く、次いで、腰椎^{すべ}こり症、分離症、骨折などである。腰椎椎間板ヘルニアなどの椎間板症は、腰椎下部に多く、その部位を中心に重苦しい痛みがあり、周囲の筋肉も緊張し、圧痛硬結も現れる。長く

立っていると痛みが増し、特に、中腰の姿勢になると下肢にも神経痛様の痛みが走る。

そして、ラセーグ (Lasègue) 徴候 (背臥位で膝を伸展したまま、脚を上^あげに持上げる。正常ではほぼ90°まで上がるが、45°くらいから大腿後側から膝の後にかけて痛みがはしる症候：図1) が陽性となり、膝蓋腱反射消失、足指筋力低下、知覚鈍麻などの症状を伴ってくる。

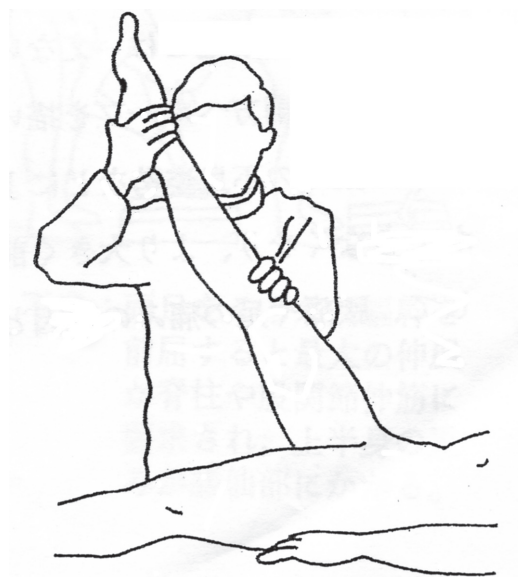


図1 ラセーグ徴候の検査

② 関節機能異常

腰椎の椎間関節や仙腸関節機能異常としての腰痛、足の痛み、しびれ、腰筋やハムストリングス、大腿筋膜張筋などのスパズ

ム等が起こって、フットワークに障害が現れる。

この種の痛みは、モビリゼーションテクニックが効果的である。

③ 腰筋痛

長時間の無理な姿勢での運動で起こる使いすぎ症状と考えられる。特に、腰椎から起始し、骨盤の中を通り、大腿骨上端に付いている大腰筋や小腰筋、腸骨筋が問題で、患者を横にして腰を側面からよく触診すると、腰椎の側面に筋の緊張と圧痛、硬結を手で触れることができる。多くのスポーツは、中腰の姿勢で構え、テニスのように股関節、膝関節を一定に曲げたままコートの中を走り回るため、大腰筋等が著しく疲労して、筋肉痛を引き起こすものである。

④ その他の原因

腹腔内臓疾患、婦人科疾患、生理異常などの内科的な原因で起こることもあるので、その鑑別が大切である。

(2) 症状と評価

① 問診

痛みの性質、部位、程度、時期、発生後の経過、持続性か間歇性か、痛みの変化（どんな時に痛みが増すか、温めると痛みが楽になるかなど）、随伴症状（足のしびれ感、冷え感）、職業、年齢などを問診する。

② 立位での評価

立位姿勢、歩行、脊柱の運動（前屈、後屈、側屈、回旋の時などの痛み）、指先-床距離（足をそろえて立ち、膝を伸ばしたまま両手を床に付けるように前かがみになって、

指と床との距離を測定する：図2）、脊柱全体の弯曲の状態、腰椎から骨盤にかけてのアライメントなどをみる。

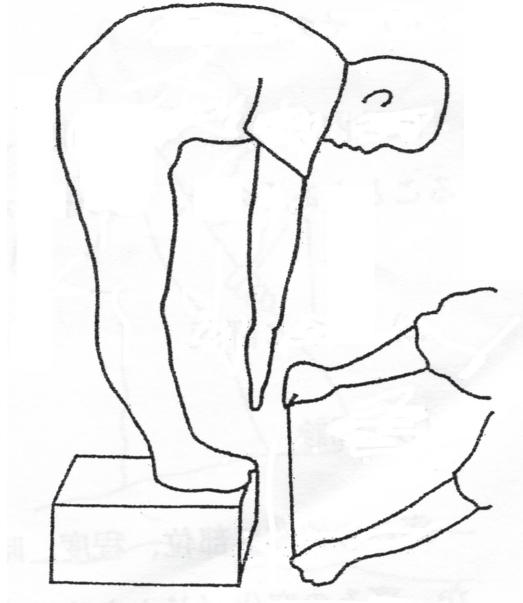


図2 指先-床距離

③ 腹臥位での評価

主として、背筋から腰筋の緊張、圧痛、硬結などを触診する。圧痛点は次のようである。

ア. 第3腰椎横突起部（左右の腸骨稜を結ぶ線（ジャコビー線）上に第4腰椎がある）4～5cm外側の強い圧痛は、筋筋膜性腰痛で、椎間板ヘルニアでは軽微である。

イ. 上殿神経部の圧痛（殿部を4等分して、その外上方の4分の1中央部）は、椎間板ヘルニアで強く出現する。殿部から大腿後側、時には足の先まで痛みが放散する。

ウ. 坐骨神経に沿ったワレーの圧痛点は図3に示す。

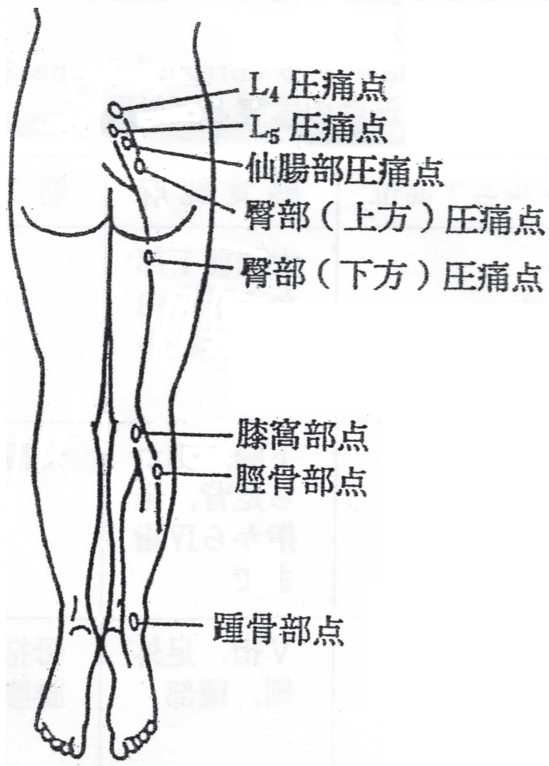


図3 ワーレの圧痛点

④ 背臥位でのラセーグ徴候 (図1)

これは、straight leg raising test (SLRテスト) の代表的なもので、神経根の圧迫の程度に応じて大腿後側から下腿にかけて痛みが放散する。足を持ち上げようとすると痛みが放散して、股関節と膝関節を屈曲してしまう。ぎっくり腰の時、この症状が非常に強い時は、そのまま上半身を起こすことさえできないこともある。

⑤ トーマステスト

片方の下肢の股関節、膝関節を深く曲げ、膝を胸につけるようにする。その時、反対側の股関節が屈曲してくるか否かのテストで、腸腰筋の拘縮、短縮や股関節の運動制限があるとき陽性となる。

⑥ 感覚障害の有無

特に下腿外側、足外側、足指の感覚鈍麻に注意する (表1)。

1. 脊柱の変形 (側弯, 不撓性) 2. 脊柱の運動制限 3. Lasègue 徴候⊕ (Bragard Bonnet 徴候⊕) 4. 感覚・運動の障害と反射異常			
ヘルニア高位	感覚鈍麻	筋力低下	反射異常
L ₃₋₄	大腿前下部から下腿内側, 母指の内側		膝反射は低下または消失
L ₄₋₅	下腿外側から足背, 母指からIV指まで	母指背屈力	
L ₅ ~S ₁	V指, 足外側, 踵部	母指底屈力, 腓腹筋	アキレス腱反射低下または消失

表1 椎間板ヘルニアの診断のポイント

⑦ 筋力低下の有無

足や足首の筋力を検査し、筋萎縮についても観察する (表1)。

⑧ 深部反射の異常 (表1)

⑨ 足背動脈の触知

触知するか否かをみる。

(3) 治療

急性期は、硬目のベッドに膝・股関節を屈曲し安静臥床する。患部を冷やしたり、サランをまくことにより痛みを軽減できる。急性期は、無理に動かしたり、マッサージなどはしないほうがよい。

慢性の腰痛に対しては、温めたり、マッサージ、鍼などの治療のほか、積極的に腰痛体操をする。

椎間板ヘルニアなどの疾患に対して椎弓切除術、ラブ (Love) 法による脱出ヘルニアの摘出術などが実施される。 つづく

随想編

開業5年目を迎えて ～脱サラ夫婦の治療院経営術 その4

岡山県 佐々貴司



患者さんの幅を広げるための優位性

私たちの治療院では、アロマセラピーや医療リンパドレナージ、そしてスポーツマッサージなどの手技を、長生術をベースにして患者さんの幅を広げています。

アロマセラピーは、医療や介護の臨床の現場で積極的に検証されており、認知症、うつやパニック障害、子どもの発達障害によるチックなどの精神障害にも、その効果が認められつつあります。医師を始めとする、有資格者で形成されているアロマセラピー学会にも所属させて頂き、精油の可能性と一緒に勉強させて頂いております。

そして、ガン細胞のリンパ節への転位によるリンパ節切除の術後の後遺症で起こる、リンパ浮腫の患者さんを救えるのが、この医療リンパドレナージなのですが、今は日本人の二人に一人がガンにかかり、三人に一人がガンで死ぬ時代と言われており、当院のリンパ浮腫の患者さんも年々増えている状況です。

長生学園を卒業した後に、この資格の必要性を妻の智美が強く感じ、後藤学園が主宰されているセミナーに参加させて頂き、医療リンパドレナージセラピストの資格を取得しました。

岡山県では、この医療リンパドレナージの施術を受けられる医療機関は、たった二

つしかなく、一つは岡山市内の病院で、もう一つ

は私たちの治療院となります。病院では、該当の部位のみ、数十分の施術だけとなるため、じっくり一時間以上受けられるのは、私たちの治療院のみとなります。

日本医療リンパドレナージ協会のホームページでも紹介頂いているお陰で、笠原など県内の遠方の方からもお問い合わせを頂き、わざわざ何時間もかけて来院されています。早島の患者さんに至っては、電車の乗り継ぎが悪いため、前日に倉敷のホテルで前泊される程で、責任を重く感じています。

学生の頃から、長年取り組んできたバスケットボールの経験も、施術に活かされています。選手としての競技経験だけではなく、指導者やトレーナーとしてのキャリアも長く、その過程で、運動療法やテーピング、そしてスポーツマッサージの手技を学ぶ機会にも恵まれました。私たちの経歴を知ってからののか、オスグッド、シンスプリント、ジャンパーズニー、テニス肘に、野球肩と、スポーツ障害を抱える患者さんも多く来院されています。

私たちの新見市の場合は、中学生までの保険適応される医療費は、市が全て負担する事になっており、病院や接骨院での治療は全て無料で受けられます。それにも関わ

らず、実費負担となる私たちの治療をあえて受けに来て下さっていますので、本当にありがたい事です。

こういった優位性のある武器も身につけておけば、他の治療院と差別化も計れますし、何より患者さんの幅が広がります。昔は、学んだ流派の技術を忠実に従い、それを極める事に美德がありましたが、昨今の患者さんの症状の多様化に対応するためには、一つの手技では、なかなか対応できないのが現状です。

学校や学会を飛び出し、新たに二人目、三人目の師匠に師事し、その中で共通して重要な事を自分なりに学びながら整理して、独自の施術スタイルを確立する事が、これからの時代を生き抜いていくために、重要となってくる事を感じています。

田舎で生き残るための条件

開業する時に、治療院の看板を取り付けて頂いた業者の方が、とても良い方で、息子さんが私と同年代という事もあり、親身にしてくださいました。私たちが開業して成功したら、もしかすると息子も戻って来てくれるかもしれないと、田舎の看板屋が見てきた、様々な業者の成功例や失敗例を話してくださいました。

共通して生き残っている事業者の条件は三つあると言います。まず一つ目は、玄関に花を飾り、それを枯らせないという事。二つ目は、腹を立たせる事なく、笑顔を絶やさないという事。三つ目は、必ず年に一回、近隣のお店や住んでいる方に、ご挨拶にお

伺いするという事でした。

助言を頂く前は、玄関にお店のメニューをアピールするポップを飾ってありましたが、これは潰れる典型的なパターンだそうで、すぐに撤去してお花を飾りました。お花を飾るのは簡単なのですが、これを枯らさないという事になれば簡単ではありません。しかし、命の輝きと向き合う仕事をさせて頂いているわけですから、とても大事な事だと気付かされました。

そして、私にとって一番課題なのが、この「腹を立たせない」という事ですが、これも中々難しいです。腹を立たせても、誰にとっても得する事はないと頭では分かっています。しかし、新規の患者さんは、半信半疑で訪れてくるわけですから、あえて逆撫でるような意地悪な質問や要求をし、己の器を試されます。何を言われても、グッと我慢し、笑顔で返そうとしても、自信のなさからなのか、反応して顔に出してしまう事もあり、技術やサービス関係なく、離れてしまった患者さんもいらしたと思います。当たり屋の雰囲気も出てきていますし、今後も、これは課題にして、患者さんにも必ず笑顔になって帰って頂けるよう精進したいと思います。

近隣の皆さまへのご挨拶ですが、忠告通り年末には必ずスーツをまとい、粗品を気持ちを入れてお渡ししています。看板屋の方は、同じ新見市内でも哲多地方の出身で、統合する前は、新見市とは別の市町村でした。同じ岡山の県北出身でも、哲多地方のよそ

者が、新見市内で看板屋を営むのは、市内の方に受け入れられるまで10年かかったとの事です。妻が新見市内出身でも、高校の時に東京へ進学したため、残らなかった者は、残った者としては、ある意味裏切り者であり、よそ者に等しく、Uターンして地元に戻っても、地元の扱いは厳しいです。その上、私は、田舎の文化を全く知らない、東京生まれの海外育ちですから、きっと皆さん宇宙人と接しているような感覚なのでしょう。しかし、心と手さえあれば、どんな所へ行ってもやっつけていけるのが、手技の良さです。しっかりと、まずは開業してから10年間、看板屋の社長を見習い、布施の精神で徳を積んで、地元になくってはならない治療院になれるよう、信頼を一つずつ積み上げていきたいと考えています。

終わりに

試行錯誤で考え抜いた経営術と、地域の皆さまによる情溢れる支えで、四年間（正確には三年と十ヶ月）何とか生き残りました。子育てを夫婦でしながらの施術ですので、稼働しているベッドの数は実質一つで、火曜日を定休日にさせて頂き、9:00～22:00の営業時間で、来院頂いた総顧客数は1,277人、総来客数は7,703人、リピート率が61.6%、客単価が4093.4円と、次回予約が約一ヶ月先の状況で、治療院経営的にどれ程の成績なのかは分かりませんが、家族で充実した毎を送る事ができています。

経済的に一番支えとなって頂けている患者さんの傾向としては、老化に伴う病態が

ほとんどで、治る治らないの世界ではありません。よく新聞などに、ギックリ腰や40肩、寝違いが治ると広告を出している先生がいますが、真似をすると痛い目に会います。何故なら、一発で治せても、治せなくとも、どちらに転んでも患者さんは定期的に通ってくれず、戻ってきてくれないからです。ですから、神の手を持つ先生も、実は新規顧客獲得に苦戦されており、経済的には大変苦勞されているはずです。

もちろん、在学中に習う最低限の治療法も大切です。前述した通り、ここがまずしっかり出来ていないと、来てくれない患者さんのドーナツ化現象が起き、広告を打たないといけないエリアがより遠くなり、どんどん経営を苦しめます。そして、これから向かえる高齢化社会では、どれだけ患者さんにご家族に、最期まで心で寄り添えるかが、重要になってきています。一生懸命、命の輝きに寄り添っていると、いつのまにかプラーナが出てきて、自分では想像もしなかった、奇跡的な回復を時々見せる事もあります。しかし、これは神さまや仏さまの采配だと思えるようにして、患者さんには「日頃の行いが良いからですね」と勇気づけています。

まだ志し半ばですが、ここまでの私たちの取り組みが、少しでも誰かの助けになればという思いで、執筆させて頂きました。また、まだまだ子育てに手がかかるため、治療院の中のベッドが一つ、いつも空いている状況です。もし、私たちの経営や治療

方針に興味を持って頂けるようでしたら、一緒に切磋琢磨できる仲間や弟子を募集中です。研修中は最低賃金、施術に入れるようになれば、施術売り上げを折半する仕組みを考えています。

近い将来は、ロボットが私たちの職を奪う時代がやってくると言われています。一流大学に入るより、今後はロボットに真似ができない職を手につける方が安全かもしれません。自分が本当にやりたい事を諦めて、

ピラミッド型の組織に守ってもらう方が良いのか、自ら社会の接点を作り、家族と仕事のワークライフバランスを取りながら、自己実現していくかは、これはあくまでも個人の選択肢となりますが、私はあえて開業する事を勧めます。

末筆ながら、チベット仏教の最高権威であるダライ・ラマ14世の言葉で、締めくくらせて頂きたいと思います。

「地球はこれ以上、成功者を必要としていない。地球が切に望んでいるのは、平和を実現する人や、人を癒やす人、修復をする人、物語る人、そしてすべてのものを愛する人たちだ。」

“The planet does not need more successful people. The planet desperately needs more peacemakers, healers, restorers, storytellers and lovers of all kinds.”

悩みや疑問、気軽に聞いちゃおう ～みんなで作る“長生知恵袋”～ 第29弾 内側からの矯正にチャレンジ（後編）

* 前号のあらすじ *

交通事故によるむち打ち症を境に10年間歩行困難で家に引きこもる72歳女性を治療することになった横山。大村にレクチャーを受けた“物理的外力の少ない内側からのプラーナ矯正”を試してみることに。



患者の後頭骨・頸椎・骨盤に対し、プラーナで内側からアプローチしたところ、2度の治療で階段をスイスイ昇れるまでに改善し気力もUP。
心身両面に、予想以上の効果を実感。治療させていただくのが楽しみに。



すごい症例ですね！写真を拝見する限り、理にかなった操作です。
後頭骨と骨盤をプラーナでリンクして、恥骨結合でプラーナの循環障害を解放した！まさしく内側からの変化です。さすが湘南の神！

やはり骨盤の外側ではなく、内側の問題だったんですね…。



骨盤基底部は、プラーナ次元では第1チャクラと呼ばれる重要なエネルギーセンターです。大地のエネルギーを吸い上げ、物質世界において、私たちが地に足を着けていられるようにしています。
そこがプラーナの循環障害になると、地に足が着かなくなり、ライフスタイルも不安定になるので、引きこもりがちなのも決して不思議ではありません。
内からの変化は強力です。
基底チャクラのブロックが外れ、プラーナの循環が正常になると、肉体症状ばかりでなく、うつ病などの精神疾患にも有効です。プラーナは意識のエネルギーであり、肉体と精神は共に働き相互につながっているので、身体の変化と共に、階段を昇る気力が湧いたのだと思います。

初診時の治療前、あまりお話しされず、歩けなくなったことを嘆いていました。治療後に足踏みをして股関節から足があがる様になると「10年前は毎日一万歩近くウォーキングをしていました。これだけ足が軽くあがるとまた歩けるかもしれません。」と前向きな言葉をいただきました。
2回目の治療の時は「私が歩けないと同居している息子や嫁に迷惑かけるから、頑張らなくては！」と、先程大村先生がおっしゃっていたように、身体の変化と共に気力が湧き、精神状態も変わりました。
「曲がっている背骨を真っ直ぐにしてやれば、自然療能作用が十分良く働いて健康になる」原田先生の教えです。僕も自然治癒力増進を促していたと…。
精神疾患といえば、最近“抗うつ剤を増やすほど、うつ病の治りが悪くなる”という論文が発表され物議をかもししていますね。





抗うつ剤や精神安定剤、睡眠薬は脳に作用する薬です。脳は精神と肉体の橋渡しをしているだけなので、うつ病の根本である精神にはアプローチ出来ません。むしろ「脳をぼんやりさせるため、脳から身体への指令が滞るので、睡眠薬を長期服用している人に意識障害や突然死が多い」と専門医から聞いたことがあります。

プラナ次元で考えても、うつ病は否定的な意識でプラナを大量に消費してしまう病気であるのに加え、薬も肝臓でプラナを消費するので、この論文は正しいと思います。

心も、脳も、プラナ不足では十分に働けません。横山先生の治療は、うつ病にも有効だと思うので、患者さんの精神状態にも変化がみられたのでしょうか。

プラナは意識のエネルギーなので、最初から動くわけがないと思って操作している時は、背骨も頭蓋骨も恥骨も動きません。大切なのは「術者の意識」でしょう。横山先生の意識がそうさせたのですよ。

確かに…根拠はまったくないのに、なんとか治るのではと意識は前向きでした。知恵袋からの刺激で、僕の意識が変わってきたのを感じます。



心と身体はトップダウンの関係にあります。意識は肉体より上位にあるので、患者さんの自発的な治癒を促そうとするなら、肉体より意識を変える方が、本当は効率が良いのです。

患者さんの否定的な感情や思考、認知を理解する、精神療法の醍醐味はそこにあると思います。

なるほど！施術者の意識と、患者さんの意識をシンクロさせるのですね。長生上人が「**患者が本心から心の開く事の出来る治療師と患者の信頼関係を作る事に他ならない**」と精神療法を定義付ける意味が分かりかけて



病院で病因が分からず絶望的な顔で来院された方に、確信をもって原因を特定してあげると、パッと表情がゆるむことがありますよね。

はい。表情だけでなく、身体までゆるんできます。今回の症例もそうでした。



修伽先生が仰っていましたが、名人と呼ばれた長生の先駆者の多くは、問診もしないで“黙って座ればピタリと当たる”タイプが多かったそうです。

なぜ脊椎を読むだけで、治療効果が高まるのでしょうか？



背骨の歪みは、自律神経や内分泌、免疫系同様、自分でコントロール出来ませんよね。偉大な先輩方は、脊椎の歪みは潜在意識がコントロールしている…と考え、背骨を通し患者さんの潜在意識にアプローチしていた…と。

そうすることで、潜在意識は「おお！分かってくれたか！」とホッとして、緊張させていた交感神経や筋肉を緩める（笑）





北長連の大平会長は、6年間一貫して「患者さんの心に寄り添う」を夏季研究会のテーマとして掲げました。
患者さんの意識は“理解してほしい”と願っているのではないのでしょうか。

長生上人が“本心から心を開く”と説いたのは顕在意識ではなく潜在意識レベルなのかもしれませんね。
今回の症例は、私の力でなく潜在意識に導かれていた気がします。



そうかもしれませんね。
治療室で亡父の顔を見た途端「おや？痛みが消えた。帰るわ」と本当に帰ってしまった患者さんがいました。当時は不思議でしたが、亡父を信頼していた患者さんの、潜在意識が治癒を促したのだと思います。

治癒は潜在意識につながっているということですか…。
大村先生に解説して頂くと、納得できて更に頑張る気力が増します！
あの後、数人の患者さんに内側からの治療に挑戦しています。
症例はまだ少ないですが、今までに無い治療ができたことは新たなステージへの第一歩を踏み出しました。



長生は「道」かもしれませんね。歩み方には各々のペースや方向性があるべきですが、実践と学びを通し、その背後にある根源的なものを追求していく修行です。
知恵袋（2年も続いている）のおかげで、大村先生が求めている治療世界をほんの少し垣間見ることが出来ます(^▽^)。ますます、診断を含め色々と体験すると思いますので、その度、質問と報告をさせていただきます！



喜んで！
簡単ではない修行ですが、一生をかけて歩む価値のある楽しい道ですね
私も知恵袋と横山先生に感謝です♪
この症例のお陰で既成概念の枠が外れ意識が広がりました。

知恵袋だけでなく、長生医学会の各支部・連合会で開催する研究会も意識を広げるチャンスですよ。
中央支部の研究会、私も参加したいです。横山先生はじめゴッドハンドの方々の技術を、直に体感し、指導していただけるのですから。

北長連も、内容が濃く充実した勉強会の様ですね。札幌での勉強会の後はスキノで若い先生達と夜遅くまで治療談義をしているとか…。



はい。故山下幸一郎先生は90歳を過ぎても最前列で勉強会に参加されていて「勉強会や懇親会で聞いた話や体験したことは、必ず潜在意識に刷り込まれるので、すぐには実践で使えなくても、困った時に潜在意識が助けてくれる」と仰いました。今回の症例も、皆さんの潜在意識に刷り込まれるといいですね。

どちんの ただいま参加中!!

第2弾か?!



中央支部
in 長生寺

ついつい
ごぶけた
しりませう。

今日写真いれたい
うってよ。勝手にのせて
ごめんね。



さて、今回は「知恵袋」横山と土肥コンビの
コラボ講習会！6月7月と連続で担当。

なんか、いつもより他支部の人
やけに多い気がします…
これって…たまたまなの？
どちんの宣伝効果じゃね？↓↓

☆どちんのただいま宣伝中☆

今年度、6月7月の「中央支部定例研究会」は、知恵袋でおなじみの「横山先生」と土肥先生とのコラボ「土肥先生」のコラボ企画！
横山、土肥先生が「ご思ったアタラシ」以外でも、是非参加していただくには、〈中央・千葉茨城・北関東の3支部所属の方は参加費無料〉

と、自画自賛してみる。

いや、気のせいじゃない気がするんだよね…



とか言ってる声も聞こえてきてましたよ。
この場でプチ同窓会状態。是非楽しんで☆

6月は横山先生がメイン



後頭骨を右に傾けた方が
呼吸が楽になるぞよ?

背骨をまっすぐにすることは
こにわたり、患者さんが
いかに楽に生活できるかが重要
だて気がしたんだよね

内容はここのところ知恵袋に載せている
後頭骨の検査法と操作法。

2人の掛け合いは和やかに
リラックスモード。



と土肥先生(笑)

7月は土肥先生がメイン



中央支部にかつて存在した
「長生の芽」に掲載されている
頸肩腕症候群の操作。

さすが勉強家は違います。

先人の知恵は
すごい。
イモッが
載ってるん
ですよ。



もう40年も前の書物からの引用です。
子どもの頃、家にうず高く積まれていた
アレ…の読んだことなかったです(汗)

午後は練習のいつもなら二人一組ですが、四人一組で行ってくださいますとお達し。

三支部の時に四人でやって叶たら、外側から客観的に見るとも出まじし、意見も言ひ合ったりもたさんできて、とても楽しく勉強できたんで、四人で組んでもらうことにしました。

全員、治療を受けた後、相互練習の時間です。

超偏々調々。脳みそフル回転です。

↑↑以前描いたコレのこと。この時は2人一組だったのに、たまたま近くにいた横山土肥組におかんなー(TTT)とヘルプかけたらああでもないこうでもないで4人で行うことになって…。それがすごいよかったんだよねーと。




4人雁首揃えても解らないものは解らないわけで…



あーでもないこーでもないとあちこちでやっています。

忙しく横山先生と土肥先生が回って直接指導でやっとご理解できたりします。



見てるのとやるのは大違い(汗)。驚くほど解ってないことに気付かされます。

無事に終了後、2人に「すごい楽しかったよ！」と声をかけたところ…

え!! すごいマジメになっちゃったよ! ほっとくとどんどんマジメになっちゃったから、いかにゆるくすまっか(汗) おかげでこっちは緊張よみか足なんかガクガクだったのよ。

全然緊張しなかつたよ! 思ってたように出来たよ。シロちゃんも拾ってくれりから仲いいもんね。マジメにならずに出来たよね。

いいコンビ☆ 仲良しが滲んでいます。やっぱり演者が楽しまなきゃね。



打ち上げは美味しい寿司屋さん。その道中、小林不二雄先生のお墓にご報告。私もずうずうしく一緒にさせていただきました。



先人の熱い長生道を継ぐ面々の熱い話を聞きながら、自分のこの墜落っ涙りに申し訳なさを感じつつも、美味しいお料理の方についつい気がいってしまう。どちんでありました(´;`)

=本部報告=

福利厚生部主催 第26回長生ゴルフ大会報告

今年の長生ゴルフ大会は、7月18日(木)に長野県は軽井沢72ゴルフにて17名の参加者で開催致しました。今年も梅雨時期の開催で雨が心配されましたが、前日はすごくいい天気で前日にもラウンドされた先生方は日焼けされていました。本番18日も最後少し雨に降られましたが、清々しい気候の中気持ちよくラウンド出来ました。今回優勝されたのは長生学園講師の松山陽太郎先生でした。そして何も賞に入らなかった先生の中で、管長ご提供のパター(優勝賞品よりはるかに高価)をあみだくじで獲得されたのは大阪から毎年参加頂いている井尾幸富先生でした。柴田管長毎年景品の協賛有難うございます。来年もどうぞよろしくお願い致します。

とても楽しい時間を過ぎすことが出来ました。ご参加頂いた先生方有難うございました。もう少し組数が増えるともっと盛り上がると思います。たくさんの先生方と親睦を深められますよう皆様のご参加心よりお待ちしております。

福利厚生部 伊勢山 昌広



=支部報告=

定例研究会

7月

中央支部

日 時 令和元年 7月28日(日) 10:00~15:30

場 所 長生寺3F

参加者 51名(会員44名 部外7名)

訂 正

- ・ 8月号機関誌P17 中央支部冥加金30,000円の追加がありました。
- ・ 同じく冥加金、栃木県津久井幸子先生10,000円記載漏れがありました。
- ・ 名簿P53 明正義博先生のTel・FAX0761-55-0862記載漏れがありました。
- ・ 名簿P44 折笠久美子先生のFax045-301-8010は、下段大宮郁夫先生のFax番号になります。
- ・ 名簿P66 小山純爾先生の刊ガナ、ジュヤではなく、ジュヅになります。
- ・ 名簿P1 倉本裕樹先生の裕→祐になります。
- ・ 名簿P39 山田雄次先生の電話番号045-232-4220になります。
- ・ 名簿P3 野嶋秀隆先生の入会支部、空欄になります。
- ・ 名簿P3 野嶋博幸先生の入会支部、北海道連合会になります。

学園便り

令和2年度(第65期生)長生学園学生募集要項

入学試験日程

試験区分	試験日	選考方法
社会人入試B 推薦入試	令和元年10月6日(日)	小論文と面接 又は 現代国語と面接
一般入試A	令和元年11月3日(日)	小論文と面接 又は 現代国語と面接
一般入試B	令和元年12月1日(日)	小論文と面接 又は 現代国語と面接
一般入試C	令和2年1月26日(日)	小論文と面接 又は 現代国語と面接
一般入試D	令和2年2月16日(日)	小論文と面接 又は 現代国語と面接
一般入試E	令和2年3月14日(土)	小論文と面接 又は 現代国語と面接

長生学園 オープンキャンパス開催日程 予約制

2019. 9/28(土) 10/26(土) 11/19(土)

2020. 1/18(土) 2/8(土) 各日 13:30~17:00

申し込みはWEBサイト

もしくは、長生学園事務局03-3738-1630【受付時間9:00~20:00】

★ 試験会場 ★

厚生労働大臣認可
宗教法人総本山長生寺付属



長生学園

〒144-0055 東京都大田区仲六郷2-35-7

TEL 03-3738-1630 FAX 03-3738-1768

URL <http://www.chousei.ac.jp>



令和元年8月28日 印刷

令和元年9月2日 発行

発行者 日本長生医学会会長 柴田政宏

発行所 日本長生医学会本部

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦1-7-10

振替口座 横浜00240-3-2497

☎ 045-521-7486

FAX 045-504-2118

印刷所 有限会社 サン・プリンティング

〒146-0083 東京都大田区千鳥2-31-11

☎ 03-3750-6633